## 28pTK-10 非定常カオスを特徴付ける Lyapunov 指数の新しい定義

早大理工 秋元琢磨,新海創也、相澤洋二

A New Aspect of the Lyapunov Exponent Characterizing a Non-stationary Chaos Takuma Akimoto, Soya Shinkai and Yoji Aizawa

Department of Applied Physics, Advanced School of Science and Engineering, Waseda University

不変測度が規格化できない、所謂、無限測度系では、観測関数の長時間平均は一定値に収束せず、ランダムになることがわかってきている。そのランダム性は、観測関数に依存して変わり、例えば、 $L^1(m)^1$ 関数であれば、スケールされた長時間平均が Mittag-Leffler 分布に収束する.

$$\Pr\left\{\frac{1}{a_n}\sum_{k=0}^{n-1}f\circ T^k\leq t\right\}\to P_{ML}(t)\quad\text{as }n\to\infty,$$

ここで、 $a_n$  は、力学系によって一意に決まる単調増加する数列、 $P_{ML}(t)$  は Mittag Leffler 分布である.無限測度系では、軌道の初期値鋭敏性があるにもかかわらず、 $a_n=o(n)$  となるため、1 次元写像の傾きが  $L^1(m)$  であるならば、通常の Lyapunov 指数は 0 となる.

本研究では、このような力学系のカオスを特徴づけるために新しい Lyapunov 指数を提案する. 具体的には、generalized Lyapunov 指数  $\lambda(a_n)$  を

$$\lambda(a_n) \equiv \left\langle \frac{1}{a_n} \sum_{k=0}^{\infty} \ln |T'(T^k x)| \right\rangle,$$

と定義する.ここで、 $\langle . \rangle$  はアンサンブル平均を表している.この generalized Lyapunov 指数は、数列  $a_n$  に依存しており、 $a_n=n$  とすると、通常の Lyapunov 指数と一致する.この generalized Lyapunov 指数を用いると、カオスの分類を非定常カオスにまで拡張することができる.

- 1. Extremely strong chaos:  $\lambda(n) = \infty$  and  $\lambda(a_n) < \infty$  for  $a_n = n^{\alpha}$  ( $\alpha \ge 1$ ).
- 2. Chaos:  $0 < \lambda(n) < \infty$ .
- 3. Non-stationary chaos :  $\lambda(n) = 0$  and  $\lambda(a_n) > 0$  for  $a_n = n^{\alpha}$  ( $\alpha \le 1$ ).

また、 $0<\lambda(a_n)<\infty$  となるような  $a_n$  が存在するとき、 $(a_n,\lambda(a_n))$  を Lyapunov pair と呼ぶ. Lyapunov pair は、力学系の軌道の不安定性を特徴付けるものである.実際に、Lyapunov pair が  $(n^\alpha,\lambda(n^\alpha))$  であれば、初期誤差は指数関数的ではなく stretched exponential 的に増大

$$\langle \Delta x(n) \rangle \sim \Delta x(0) \exp(\lambda(n^{\alpha})n^{\alpha})$$

し、 $(\ln n, \lambda(\ln n))$  であれば、初期誤差またはべキ的に増大することになる.

$$\langle \Delta x(n) \rangle \sim \Delta x(0) n^{\lambda(\ln n)}$$

本講演では、変形ベルヌーイ写像、Boole 変換, log-Weibull 写像を用いて、generalized Lyapunov 指数を計算する. そして、flat critical points を持つ無限測度系では、Lyapunov pair における数列  $a_n$  が return sequence でなく  $a_n = n$ 、つまり、通常の chaos となることを示す.

<sup>1</sup>不変測度 m に関する平均値が有限である関数.